

# 令和5年度 都城市立高城小学校 自己評価書・学校関係者評価書

令和6年2月2日作成

【自己評価及び学校関係者評価の評価方法 4段階 A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待を下回る D：改善を要する】

| 評価項目            | 評価指標  | 具体的な取組   | 学校評価アンケートの結果(保護者・児童・職員)                           |                    | 学校自己評価              |   | 学校関係者評価 |  |
|-----------------|---|--|---|--------------------|---------------------|---|---------|--|
|                 |   |  | 回答数   | 回答種                | 回答者別                | 総合評価  | 評価内容    | 評価内容   |
| 確かな学力の定着        | 1 子どもたちが主役の授業づくりと組織的取組                      | ・主題研究の確実な実施  | ※この項目のアンケートはなし。<br>今年度の主題研究についての振り返りアンケートを後日実施予定。 |                    | A                   | ○ 児童用タブレットPCの学習活動での積極的な活用により、個別最適な学びを実現するとともに、持ち帰りによる家庭学習での活用につなげることができた。<br><br>○ 本校教職員全員による授業研究会を1人1回行い、指導力の向上に資することができた。<br><br>○ 学習習慣の定着を図る指導により、チャイム1分前の着座、立腰等が定着してきている。<br><br>● 本校が取り組んでいる学力向上の取組について、保護者等に向けた説明が足りていないため、機会を捉えて説明を行っていく必要がある。<br><br>● 高学年児童に向けた読書活動の啓発を行っていく必要がある。 | B       | <ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上のためには、学習習慣の定着が必要である。参観日での学習態度が落ち着いてきており、更なる充実を望む。</li> <li>ICT端末の効果的な活用は良好である。読書活動の啓発は必要だと思う。高学年になると学習内容も高度になるので、読書時間のとり方、読みたい本の調査等も必要かもしれない。保護者・児童ともに学習内容が分かることと80%が答えているのに対して、教職員が40%と低く答えている分析が必要である。</li> <li>児童が学習について高い評価を出しているのが先生方の指導のおかげである。結果がついてくるのを期待する。</li> <li>授業の最初に自分の名前をしっかりと書く習慣を付けさせたらと思う。発表する時は正しい姿勢で、声の小さい人は少し大きく、自信をもって発表してほしい。</li> <li>学習内容が分かるの教職員の評価60%は課題である。更なる授業研究が望まれる。タブレットの家庭利用が少ない理由を把握すべきである。</li> <li>読書については、読解力向上と同時に、その本の子どもに与える印象度と効果も大切である。読書で得られる思考力や想像力を身に付ける必要がある。C以下の児童への指導が最も大切であり、保護者の更なる協力が必要である。</li> <li>授業研究会が1回は実施されることは大変よいことである。学習内容が分かるの質問に、児童のパーセンテージが高いが、児童の様子を見ていると、理解できていない児童が多いように感じる。先生の話や説明をしっかりと聞かずに私語をしたり、勝手なことをしていることに原因があると思う。読書量は中学年が多いのに感心した。ただ、算数の文章問題を解く様子からは読解ができていない児童が多いので、読書との関係を不思議に思う。生涯学習センター図書館から借りる児童も多いと思うので、一概に図書館の数だけでは判断できないと思う。</li> <li>先生方のやる気・活力が弱いように感じる。児童の授業中の姿勢が悪い。文字を書く姿勢、話を聞く姿勢が悪い。</li> </ul> |
|                 |   | ・単元テストの担任期待値が平均点以上となる。   | ※この項目のアンケートはなし。<br>各担任からの回答を集計する予定。               |                    |                     |   |         |  |
|                 |   | ・「学習内容が分かる。」と答える児童が80%以上となる。   | 保護者   | A B C D            | A 24 B 52 C 14 D 10 |   |         |  |
|                 |   | 児童   | A B C D   | A 50 B 37 C 9 D 4  | B                   |   |         |  |
|                 | 職員  | B C D E  | A 0 B 40 C 40 D 20                                | C                  |                     |   |         |  |
| 2 1人1台端末の効果的な活用 | ・授業での活用が1日1回以上ある。<br>・平日の家庭学習での活用が70%以上となる。 | 保護者  | A B C D E   | A 29 B 46 C 18 D 8 | B                   |   |         |  |
|                 |   | 児童   | A B C D   | A 40 B 42 C 13 D 6 | B                   |   |         |  |
|                 |   | 職員   | A B C E   | A 5 B 70 C 15 D 10 | B                   |   |         |  |
| 3 読書の推進         | ・年間読書冊数<br>低学年80冊 中学年60冊 高学年50冊以上           | 本校図書室での貸出冊数集計(4月～12月) 17,482冊<br>学年部別平均貸出冊数 低学年 60.2冊 中学年 79.9冊 高学年 20.9冊<br>全学年平均 45.0冊 |   | B                  |                     |   |         |  |
|                 |   |  |   |                    |                     |   |         |  |
| 豊かな心の育成         | 1 基本的な生活習慣の定着                               | ・「高城小よい子の生活」が守れていると答える児童が80%以上となる。   | 保護者   | A B C D            | A 23 B 51 C 18 D 8  | B   |         |  |
|                 |   |  | 児童  | A B C D            | A 38 B 42 C 13 D 7  | B   |         |  |
|                 |   |  | 職員  | A B C E            | A 20 B 35 C 40 D 5  | B   |         |  |
|                 | 2 いじめのない学校づくり                               | ・言葉遣いの指導を徹底し、児童に改善が見られたと答える職員が90%以上となる。  | 保護者   |                    |                     |   |         |  |
|                 |   |  | 児童  | A B C E            | A 25 B 35 C 30 D 10 | B   |         |  |
|                 |   |  | 職員  | A B C D E          | A 25 B 50 C 5 D 20  | B   |         |  |
|                 | ・「心のアンケート」でいじめの解消率100%となる。                  | 保護者  |   |                    |                     |   |         |  |
|                 | 児童  | A B C D  | A 63 B 24 C 7 D 6                                 | B                  |                     |   |         |  |
|                 | 職員  |  |   |                    |                     |   |         |  |

| 評価項目        | 評価指標                                      | 具体的な取組                          | 学校評価アンケートの結果(保護者・児童・職員)   |   |   |   |   | 学校自己評価  |                     | 学校関係者評価  |    |  |   |
|-------------|---|---------------------------------|---|---|---|---|---|---|---------------------|--|----|--|---|
|             |   |                                 | 回答者別  | 総合評価  | 評価内容  | 評価  | 評価内容  |   |                     |  |    |  |   |
|             |   |                                 | ・令和5年12月上旬～12月中旬実施<br>・回答数 保護者50名 児童56名 教職員12名<br>・回答種 <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> そう思う <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> どちらかといえばそう思う<br><span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> どちらかといえばそう思わない <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> そう思わない <span style="background-color: #90EE90;">E</span> 分からない |   |   |   |   | 回答者別  | 総合評価                | 評価内容   | 評価 | 評価内容   |   |
|             |   |                                 |   |   |   |   |   | ○成果   | ●課題                 |  |    |  |   |
| 健康・体力の向上    | 1 健康・安全指導の充実                              | ・「早寝・早起き・朝ご飯」の定着率が90%以上となる。     | 保護者   | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | A 30 B 52 C 14 D 4                                | B                   | ○ 1学期の水泳、2学期の運動会練習、冬季の持久走練習や縄跳び運動等により、運動量の確保に努めた。また、体力テストD・E判定の児童の割合が1割以上減少した。 R4年度 74人 → R5年度 64人<br><br>○ 栄養教諭による食育指導を、すべての学級で実施することができた。また、保健指導や健康指導の充実により、感染症等に対する対策について習慣化を図ることができた。<br><br>● う歯治療率 64.0% → 56.6% | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上で成果が出てきており、年次計画のもと、更なる向上を目指してほしい。</li> <li>各種の企画・指導により、成果が表れていると思う。</li> <li>コロナ感染症が5類に移行し、通常の生活が戻ってきた。将来に向けての身体の土台づくりをお願いしたい。</li> <li>身体の鍛錬を通して、暑さ、寒さ、きつさ等、今の自分を克服できるようになると思う。また、人の痛みを知る大切な心の教育になる。</li> <li>3食の習慣化と栄養を十分に摂ることは必須である。C以下が30%近いのは今後の課題である。体力向上については教職員の15%は少ないので、さらに増えることを望む。</li> <li>「早寝早起き朝ごはん」は、やはり保護者との連携を図っていく必要があると思う。体力テストDE判定児童の減少はよい結果である。継続して体力向上に努めていただきたい。</li> </ul>   |   |
|             |   |                                 | 児童  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 46 B 30 C 15 D 9  |  |    |  | B |
|             |   |                                 | 職員  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 5 B 70 C 15 D 10  |  |    |  | B |
|             | 2 食育の充実                                   | ・食に関する指導の全学級での完全実施に努める          | 保護者   | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 25 B 55 C 17 D 3                                | B                   |  |    |  |   |
|             |   |                                 | 児童  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 58 B 32 C 5 D 5   |  |    |  | B |
|             |   |                                 | 職員  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 5 B 55 C 25 D 15  |  |    |  | C |
|             | 3 体力向上プランに基づく運動の日常化                       | ・体力テストのD・E判定児童を1割減らす。           | 保護者   | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 25 B 55 C 16 D 4                                | B                   |  |    |  |   |
|             |   |                                 | 児童  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 52 B 26 C 15 D 7  |  |    |  | B |
|             |   |                                 | 職員  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 15 B 55 C 15 D 15 |  |    |  | B |
| 家庭・地域等との連携  | 1 学運協を中核とした地域との連携                         | ・地域人材、地域素材を活用した体験活動を年間5回以上実施する。 | 保護者   | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | A 23 B 58 C 12 D 7                                | B                   | ○ 可能な範囲で地域素材の活用や、外部団体、外部講師等の人材活用などを図り、教育活動に生かすことができた。<br><br>○ 各種通信や学校ホームページ等で教育活動の様子を発信することにより、家庭や地域の理解や協力を得ることができた。  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域人材の活用では、課題として挙げられた児童の発達段階に即した内容となるよう、打合せ等を充実させる必要がある。</li> <li>「先輩に学ぶ」等の企画は子供達の将来を描くのに必要な情報となるので、今後も継続してほしい。</li> <li>家庭や地域の方は、児童の成長を願い、教育活動の協力をされている。先生方の要望を挙げて頂くことで、働き方改革が進んでいる。</li> <li>これからの予測困難な社会を生きていく子供達が身に付ける必要があるのは「生き抜く力」を高めていくことである。そのためにも、心身を鍛え、人の痛みを理解し、広い知識と柔軟な思考を求めて努力し、他者と協働していくことが大切ではないだろうか。</li> <li>地域との交流は、地域の歴史・文化を計画的に学べるように取り組んでほしい。国内外で活動している卒業生を調べてもらい、児童の励みにしてほしい。学校ホームページの活用も更に進めて欲しい。</li> <li>地域の方々の協力が得られて、大変有難いことである。子供は地域の宝なので、地域の方々に子供達の様子を知っていただくために、公民館長会や民生委員会の場に出向かれて案内されるとよいと思う。学校の現状等も少し紹介されると、喜ばれると思う。</li> <li>6年生の職業を聞く会を企画したが、休憩中に走り回る児童が多く、注意してほしい。</li> </ul> |   |
|             |   |                                 | 児童  |   |   |   |   |   |                     |  |    |  |   |
|             |   |                                 | 職員  | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span> | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 15 B 60 C 10 D 15                               | B                   |  |    |  |   |
|             | ※この項目のアンケートはなし。                           |                                 |   |   |   |   |   |   |                     |  |    |  |   |
|             | 2 小中一貫教育の推進                               | ・重点実践事項を全職員が意識して指導する。           | 年間4回3校合同小中一貫教育研修会を実施<br>①5/2 ②8/24 ③11/8(授業研究会) ④1/17   |   |   |   |   |   |                     |  |    |  |   |
|             |   |                                 |   |   |   |   |   |   |                     |  |    |  |   |
| 3 学校からの情報発信 | ・学校だよりを月1回以上発行する。<br>・学校ホームページをきめ細かに更新する。 | 保護者                             | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span>   | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | A 30 B 57 C 8 D 5                                 | B   |                     |  |    |  |   |
|             |   | 児童                              | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span>   | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #CCCCFF;">D</span> | A 64 B 21 C 10 D 5                                | B   |                     |  |    |  |   |
|             |   | 職員                              | <span style="background-color: #FFC0CB;">A</span>   | <span style="background-color: #FFFF00;">B</span> | <span style="background-color: #C0C0FF;">C</span> | <span style="background-color: #90EE90;">E</span> | A 15 B 65 C 5 D 15                                | B   |                     |  |    |  |   |